

念ずれば花いろく

久壽田貞氏

お仏壇は

家庭の中心

吉祥幸せのいづるところ

心の落ち着きの得えられるところ

御先祖様方の安らがれるところ

我が念おもう人の住まうところす

心を込めておまいりしましょう



功德のいただける

お仏壇のまつり方

お仏壇は 仏様の世界 お浄土じょうどです。



お浄土じょうどを

此の世に
現わしたのが
お寺の本堂です。



本堂を
自分の家に
作ったのが
お仏壇です。



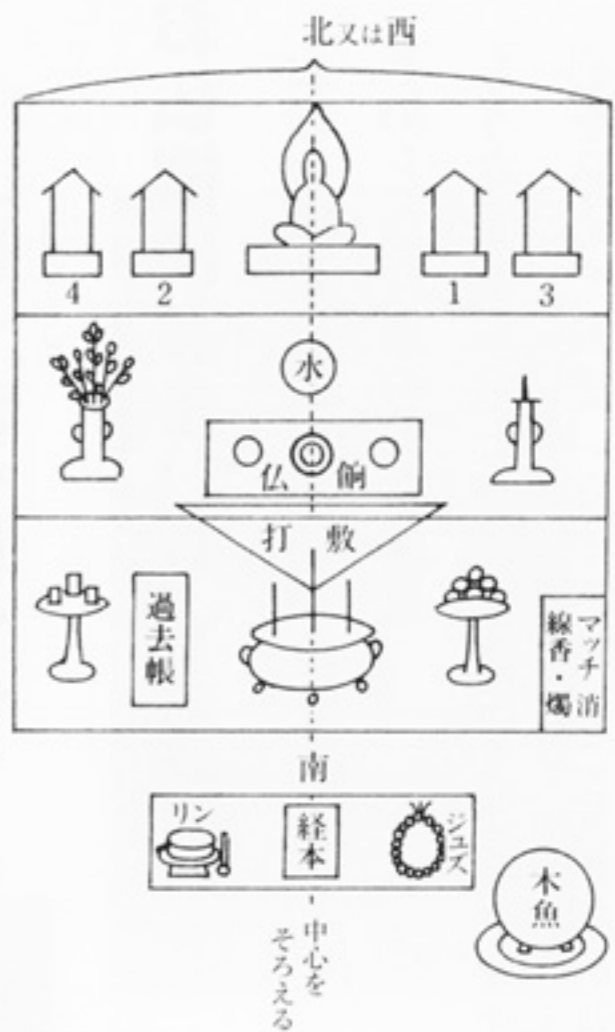
お仏壇におまいりする時は

お寺の本堂を頭に思い描きましょう。
そのとき吾家のお仏壇は、
もう立派な本堂となり、お浄土となります。
心を込めておまいりする時、よろこびご先祖様の法楽は増し、
成仏力オマモリが増し、子孫を加護オマモリ下さいます。



お仏壇のまつり方

お供え



(左右対称が基本となる)



供物用の半紙の折り方置き方

- 水は 毎朝かえ、一日中あげておく
さげた水は庭木にそそぐ
- お仏餉(御飯) お釜より最初によそう
線香がおわる頃さげる
お釜にもどし家族で分け戴く
- お茶は お仏餉と同時に上げ下げする
- 田畑のお初や到来物は 必ずお仏壇へお供えする
- 果物・菓子等も 先ずはお仏壇へお供えする
- 五供を絶やさぬ 香・花・燭・水・飯
- 掃除を欠かさない

本尊様をお仏壇の中心線上に安置し

本尊様と線香立と自分とが、一直線になる様にします。

お位牌様は、古い順に右図のごとく安置します。

燭台は……本尊様の左手(向かって右側)

お華は……本尊様の右手(向かって左側)

お水は……二十四時間供えておきましょう。

お仏餉は……御飯はお釜から最初にとりわけ、湯気のあるうちに

お供えします。

お供物は……常時新鮮なものをあげましょう。

お掃除……お仏壇はお浄土です、いつもキレイにしておきましょう。

先祖の霊力を高め、功德を頂く為の作法です。

(詳しくは20頁以下参照)